特集　役場庁舎等建設

第９回審議会ではセキュリティーと使用熱源の検討を中心に協議

平成 32年度に建て替えが行われる予定の現･役場庁舎

今回は2月20日に開催された津別町庁舎等建設審議会の概要をお知らせします。

会議室が多いのでは

委員　会議室関係の部屋が多いように感じます。

事務局　執務室には来庁者が入れない設計にしており、現在の応接スペースの代替として打ち合わせコーナーを設置しています。窓口にある相談室は、周りに聞かれたくない話もありますので設置しています。会議室の数は現状と比べても多くはありません。

健診の動線とセキュリティー

委員　健診の際の健診会場（コミュニティホール）へ向かう動線はどうなるのですか。

保健福祉課長　正面玄関から入ることになります。進入禁止の区画は、テープの設置や防犯カメラでセキュリティーを担保します。早朝の健診では現在同様、職員が誘導することを考えています。

事務局　セキュリティーの心配も承知していますが、過度な設備にはしない方がよいと考えています。

委員　夜にコミュニティホールを使うときはどうなりますか。

事務局　職員がいないときは何らかの対応が必要かと思います。

委員　想定をいくら考えても切りがないので、ケースバイケースで対応してもらい、その中でセキュリティーの担保ができていれば大丈夫かと思います。

吹き抜けの安全性は

委員　1階ロビー・カウンター上部吹き抜け部分は何かで囲われているのでしょうか。

事務局　ＢＮＫ（※1）法的に1・1ｍの囲いが必要です。強化ガラスのようなもので囲うようにしたいと考えています。必要に応じて曇りガラスも検討します。

外装材・内装材

委員　外装材の一部にガルバリウム鋼板を使うことは決定で、材の樹種はこれから検討するのですか。

ＢＮＫ　そのとおりです。

委員　内装材の柱や梁は木が見える感じになるのですか。壁はどのようになりますか。

ＢＮＫ　柱や梁は木を見せていきたいと考えています。壁は法的な制限があるため、一部に木を使うことを検討します。

使用熱源の検討

事務局　ＣＧＳガス発電を利用する案については、国庫補助金の対象になる可能性があったことから、お話しさせていただいておりましたが、平成33年２月までに設備工事代金の支払いが完了していなければならないという条件があり、スケジュール的に難しいということになりました。補助金にスケジュールを合わせると冬期間の工事が必要であり、３～４千万円の追加費用が掛かるため、補助金と同じくらいの額が掛かってしまいます。

ＢＮＫ　エコタウンの観点では、いずれの案もペレット暖房が前提としてあるので、これで十分エコなのではと考えています。

北総研（※2）　個人的な見解ですが、ガスよりペレットを多く使う方がよいと考えます。コスト面ですと圧倒的にペレット暖房＋灯油ボイラー＋電気冷房の案がよいと考えます。

委員　灯油の価格は変動しやすいので、ペレット暖房＋ガスボイラー＋ガス冷房案がよいと思います。

委員　災害対策の面で違いはあるのでしょうか。

事務局　どの案でも非常用電源設備は必要になります。

委員　私はペレット暖房＋ガスボイラー＋ガス冷房案がよいと思います。

委員　私もその案がよいと思います。

会長　審議会としては、ペレット暖房＋ガスボイラー＋ガス冷房案がよいという意見が多かったと整理します。

第10回審議会以降の日程

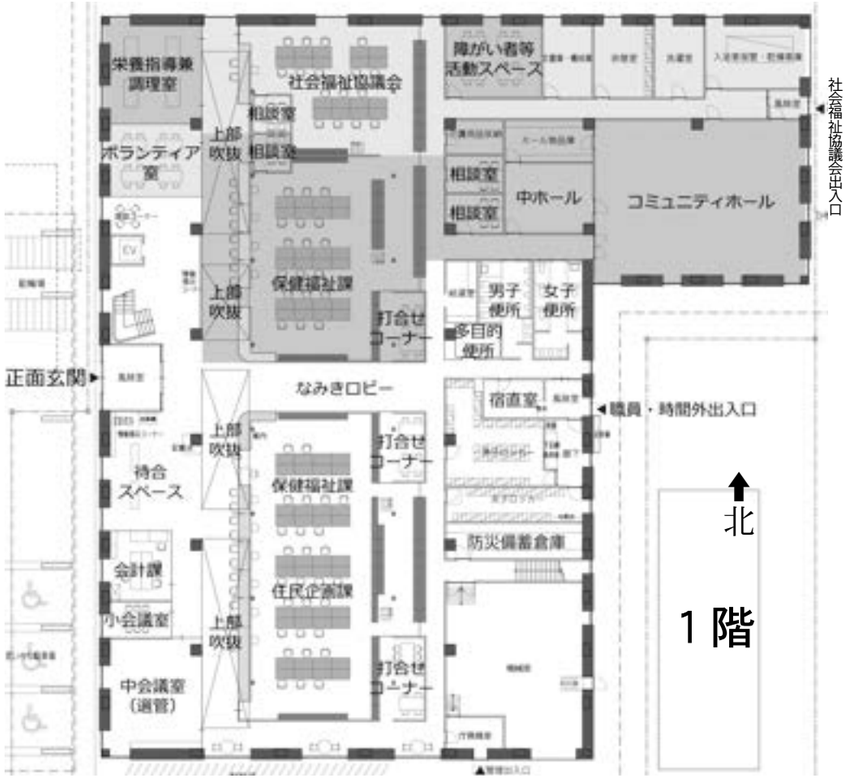
最終となる第10回審議会が３月18日に開催されました。

各資料は津別町ＨＰに掲載します。
http://www.town.tsubetsuhokkaido.jp/

（※1）ＢＮＫ…札幌市　アトリエブンク。庁舎等基本設計委託業者。
（※2）北総研…地方独立行政法人　北海道立総合研究機構。庁舎等建設に係るアドバイザー。

■本記事についての問い合わせ先
津別町庁舎等建設審議会事務局
（役場総務課）
☎76－2151（内線211・238）

《道道 588 号線側》



《町道 28 号線側》